



令和6年度 長野ろう学校グランドデザイン



長野県特別支援学校 重点6年度重点項目

○児童生徒の可能性が最大限伸びる学び

○共生社会の実現に向けた協働の学び

- すべての児童生徒に対し一人ひとりのニーズに応じた教育を提供
- 特別支援学校の専門性の向上
- 地域や企業の方との協働の学びの充実
- 地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実
- 幼小中高等学校における特別支援教育の対応力の向上を支援

【教育課程の方針】

聴覚障がい幼児児童生徒に対し、豊かな人間性と障がいによる学習上又は生活上の困難を改善、克服する力を育み、積極的に社会に参加し自立できる人間の育成を目指す。

学校教育目標
美しい言葉 豊かな心 元気な体

【学校長・教職員の願い】

一人ひとりの子どもが仲間と共に安心して学び、もてる力を最大限に発揮し、力を伸ばすことができる子どもを主体とした学校
・言語力・学力・発信力・探究力
・社会性・心身の健康
・人権尊重

【子ども達の願い】

笑顔いっぱいの人ひとりが輝ける学校にしたい。
・明るいあいさつを広げたい。
・皆と仲良くなりたい。全校で交流したい。

学校運営合言葉
選ばれる長野ろう学校へ
-聴覚障がい教育を繋ぎ続ける職員集団

【目指す子ども像】

- 豊かで適切な表現ができる子
(言語力・発信力)
- 自ら探究し主体的に学ぶ子
(学力・探究力)
- 自立して生きていく子
(社会性)
- 丈夫な体と強い意志をもつ子
(心身の健康)
- 認め合い支え合える子
(人権尊重)

【令和6年度 学校運営の重点】

幼小中高舎の一貫した教育の実践

【学力・言語力・発信力・探究力】
基礎・基本の定着
学力・言語力・発信力の向上
自ら探究する主体的な学び

聴覚障がい教育を中核に進める学校の伝統を生かしつつ、確かな学力や社会性を身につけるための「新しいろう学校の創造」

【社会性】
コミュニケーション能力の伸長による豊かな社会性の育成
校内外の交流の充実

【人権尊重】
自他を尊重し、互いに認め合う関係づくり
明るい挨拶を広げる

【健康・安全・安心】
心身の健全な成長と安全・安心な学校生活

個々の教育的ニーズに応じた教育実践

【支援体制】
校内と地域で生活する難聴児への相談・支援・センター的機能の充実

【令和6年度 具体的な取り組み】

学校運営の具体的な取り組みのテーマ ～ 伸びる つながる 発信する～

学力・言語力・発信力・探究力の向上に向けた取り組み

- 聴覚障がい教育の専門性を基盤とした指導
- 分かる授業を目指した授業改善と授業研究
- 個別の指導計画をもとにした指導と評価の一体化
- 問いのある授業、子どもの思い・子どもからのことばを受け止め、尊重する関わり
- ねらいを明確にしたICT活用の推進
- 専門性の向上を目指した研修の充実

社会性の向上に向けた取り組み

- 幼小中高の異年齢の関わり・全校交流の充実・部間の連携
- 表現活動の充実（演劇・美術・合奏・合唱・作文等）
- 交流及び共同学習、居住地校・副学籍校等との交流の充実
- 地域の学校への発信・交流
- 寄宿舎生活における集団生活の充実

人権を尊重した教育・自己肯定感の向上に向けた取り組み

- 互いに認め合う関係づくり・自己肯定感の向上に向けた取り組み
(自立活動、総合的な学習の時間、交流及び共同学習、居住地・副学籍交流、児童会・生徒会、部活動、寄宿舎等)
- 児童会・生徒会、職員による挨拶の推進
- 相談週間の取り組み
- 幼小中高で連携し見通しをもったキャリア教育の充実
- 人権教育研修の充実

安全・安心な学校生活づくりと健康管理に向けた取り組み

- 幼児児童生徒自身の主体的な健康管理と感染予防
- 体力・運動能力の向上運動機会の確保部活動の充実等
- 心身の健全な育成性に関する指導食育健康教育メディアリテラシー教育等
- 危機管理体制の構築
- 地域と連携した防災・安全対策

センター的機能の充実に向けた取り組み

- 教育相談・通級指導・早期支援教室・きこえの教室
- 居住地で学び生活している難聴児への支援
- 関係機関（医療・教育・福祉機関、企業等）との連携
- 支援の提供・情報発信

【目指す教職員像】

- 課題を明確にした分かる授業
日々の研修研鑽により聴覚障がい教育の専門性に立つ授業を実践し、基礎・基本の定着と学力の向上に努め、分かる授業を目指します。
- 子どもを主体とした関わり、子ども・保護者との信頼関係の構築
子どもを主体とし、一人ひとりの子どもの思い・ことばを大切に受け止め人格を尊重します。また、保護者との確かな信頼関係を築くことを目指します。
- 切磋琢磨する職員集団
互いに批評し合い、磨き高め合う職員集団を目指します。非違行為を根絶します。